

【専門教育科目/看護の統合と発展】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
総合看護演習	NSP43_003	必修	1	4	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
榎本 温 他	408	satoshi.kashimoto	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	4年次までに講義・演習・実習で学んだ知識、技術を振り返る。また、それらを通して臨床推論力も養う。これらの総まとめを行うことで、自己の課題を明確にし、その課題を克服することで看護職者として必要な知識・技術・思考過程を身に付けることを目的とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	演習には主体的に取り組むことを期待する。各回授業のはじめに実施する小テストに向け自己学習をしたうえで授業に臨むこと。				
教科書	必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護に必要な知識と技術を身につけることができる。		NS(1)~(5)		
②	状況に応じた臨床判断能力をいかした看護実践を考えることができる。		NS(1)~(5)		
③	自己課題を明確にすることができる。		NS(1)~(5)		
④	自己課題に基づいて主体的に学習を進めることができる。		NS(1)~(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	ガイダンス 人体構造機能学・疾病治療論およびその看護(1)	講義・演習 反転授業・PBL	該当部分の予習 講義内容の復習をする。	1	
2	人体構造機能学・疾病治療論およびその看護(2)	講義・演習 反転授業・PBL	該当部分の予習 講義内容の復習をする。	1	
3	人体構造機能学・疾病治療論およびその看護(3)	講義・演習 反転授業・PBL	該当部分の予習 講義内容の復習をする。	1	
4	人体構造機能学・疾病治療論およびその看護(4)	同時双方型授業 反転授業・PBL	該当部分の予習 講義内容の復習をする。	1	
5	人体構造機能学・疾病治療論およびその看護(5)	同時双方型授業 反転授業・PBL	該当部分の予習 講義内容の復習をする。	1	
6	基礎看護学(1)	講義・演習 反転授業・PBL	該当部分の予習 講義内容の復習をする。	1	
7	基礎看護学(2)	講義・演習 反転授業・PBL	該当部分の予習 講義内容の復習をする。	1	
8	基礎看護学(3)	講義・演習 反転授業・PBL	該当部分の予習 講義内容の復習をする。	1	
9	精神看護学	講義・演習 反転授業・PBL	該当部分の予習 講義内容の復習をする。	1	
10	小児看護学	講義・演習 反転授業・PBL	該当部分の予習 講義内容の復習をする。	1	
11	母性看護学	講義・演習 反転授業・PBL	該当部分の予習 講義内容の復習をする。	1	
12	在宅看護学	講義・演習 反転授業・PBL	該当部分の予習 講義内容の復習をする。	1	
13	看護の統合と実践	講義・演習 反転授業・PBL	該当部分の予習 講義内容の復習をする。	1	
14	統計 / 関係法規 (1)	講義・演習 反転授業・PBL	該当部分の予習 講義内容の復習をする。	1	
15	統計 / 関係法規 (2)	講義・演習 反転授業・PBL	該当部分の予習 講義内容の復習をする。	1	
試	筆記試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【専門教育科目/看護の統合と発展】

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	85	0	0	0	15	100
	思考・推論・創造する力	55	0	0	0	0	55
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	15	15
問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10	
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	試験は、国家試験形式とする。評価は定期試験(筆記試験)のみで行う。				試験終了後、解答の提示および必要時解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
備 考							
他担当教員	◎山崎 さやか、◎吉岡 睦世、坂本 文子、望月 宗一郎、窪川 理英、森川 三郎、飯嶋 玲奈、佐野 宏一朗、東福寺 愛実、堀口 まり子、伊丹 幸子、大泉 葉子、馬淵 路子、山本 富士子 (◎: 科目副責任者として試験問題作成、連絡調整等行う。)						
教員の実務経験	科目を担当する教員は臨床および教育に関する豊富な経験を有している。						
実践的授業の内容	看護職者としての経験を活かし具体的な事例や場面を交えながら、学生が想起できるよう国家試験問題を用いた授業を行う。						
その他	・授業中の私語は禁止します。また、指示がある場合を除いた携帯電話、スマートフォン等電子機器類の使用は禁止します。これら受講態度に問題があり、注意をしても改善が見られない場合は、退室してもらいます。						